allcinema

グランド・ホテル（1932）

GRAND HOTEL

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 113分
初公開日 1933/10
公開情報 劇場公開

【解説】

ホテルは様々な人生が交錯する場所の最たるものだが、そこで起きる事件を巧みに連関させ、人間の和の中にドラマをみる、そうしたこの映画の作劇法がいつからか、こうした分野の総称を指してその題で呼ばれるようになった。しかし、旅客機などが舞台の、後のこの種の作品よりぐっとシンプルな、主要登場人物は五人という本作。意外と小ぢんまりした印象を持った。ロシア出身で帝政時代の想い出を引きずるバレエのプリマ、マダム・グルシンスカヤにガルボ。その真珠の首飾りを狙う、カイゲルン男爵を自称する泥棒にＪ・バリモア。彼らは、男爵の犯行時にたまたまマダムが居合わせて、人気の下落激しいマダムを男爵が励まして急速に親しくなった。恋に輝いてかつての華やぎを取り戻す表情の変化など、ガルボならでは。合併話が暗礁に乗り上げて事業が危機にある入り婿社長のプライジングにビアリー。彼は速記者として雇ったクロフォード扮するフレムに欲望を覚える。そのプライジングの会社の経理課勤務のクリングラインは健康を害し、自暴自棄になって全財産を使い果たすためそこへやって来た小心翼々たる独身者で、これを演じたＬ・バリモアの演技が中ではベストだろう。彼とフレムが互いを理解しあって愛し合うようになるくだり、彼が男爵のスポンサーとしてくり出したカード賭博の場で、一人勝ちして勝利の美酒に酔う場面など、彼を要にして構成もできているようだ。悠然と構えながらも、グールディングの演出は映画的処理の手際が鮮やかで大変魅きつけられる。

【クレジット】

監督	エドマンド・グールディング	Edmund Goulding	
製作	アーヴィング・Ｇ・サルバーグ	Irving G. Thalberg	
原作	ヴィッキー・バウム	Vicki Baum	
脚本	ウィリアム・Ａ・ドレイク	William A. Drake	
撮影	ウィリアム・Ｈ・ダニエルズ	William H. Daniels	
出演	グレタ・ガルボ	Greta Garbo	グルシンスカヤ
	ジョン・バリモア	John Barrymore	ガイゲルン男爵
	ジョーン・クロフォード	Joan Crawford	フレムヒェン
	ウォーレス・ビアリー	Wallace Beery	プレイジング
	ライオネル・バリモア	Lionel Barrymore	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.